

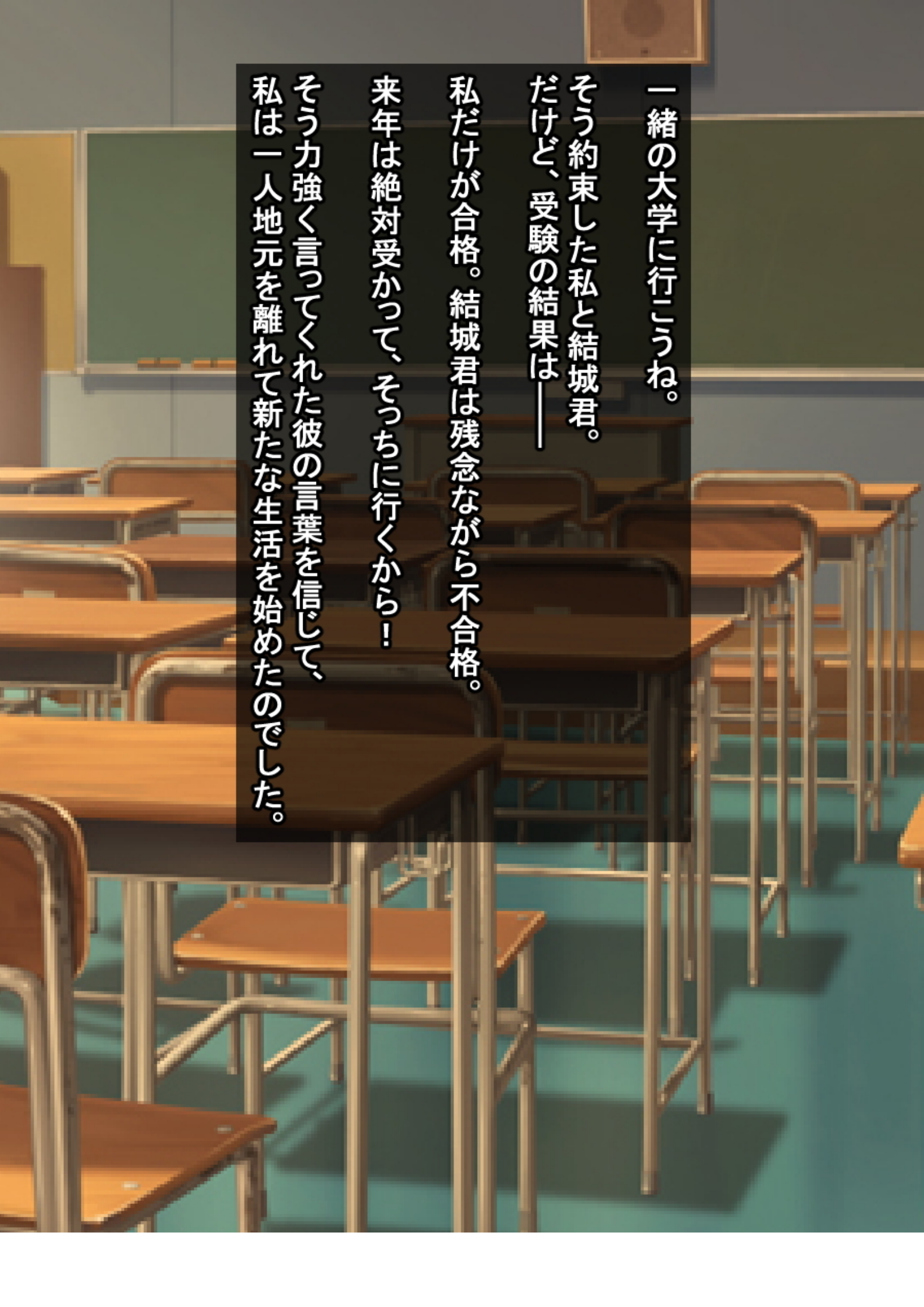


**遠距離女子大生の春菜ちゃんが  
ド変態オナニーにハマった理由**

基本CG **12枚** + 旧立ち絵1枚  
本編 **96枚**

ウレシ  
ウレシ  
ウレシ  
ウレシ  
ウレシ

ウレシ  
ウレシ



一緒の大学に行こうね。

そう約束した私と結城君。  
だけど、受験の結果は――

私だけが合格。結城君は残念ながら不合格。

来年は絶対受かって、そっちに行くから！

そう力強く言ってくれた彼の言葉を信じて、  
私は一人地元を離れて新たな生活を始めたのでした。



って感じなんだけどさー、春菜はどうするの？

え？ なにが？

もー、ちよっとぼーっとしすぎ(笑)

だからサークルだって。春菜はどこか入るの？

ああ、うん。私は――

ムムム



あ、もうこんな時間！

あー、また彼氏？ ほんと仲いいよねー

ごめんね…いつもこの時間に帰って  
電話で少しだけ話すのが日課だから

ふうん、でも別に電話なら家でかけなくてもよくない？





どうせ勉強の邪魔にならないように少しだけなんですよ？  
その辺でかければいいじゃん

……そう言われてみればそうかも

じゃ、もうちょっと話そうよ

うん、じゃあ少しだけ





そんでサークルだけどさあ、私テニスやってみたいなって思ってるの

え？ 私も入るならテニスにしようと思ってたんだ

えー、テニスはやめといたほうがいいよ！



どうして？

あそこ、ヤリサーって評判なんだから！  
結構ヤバ目の「J」ともやってるらしいし

そうなんだ……

マジ？ じゃ、やめとこー。よかったー入る前に知っついて

ね、春菜？

うん、そうだね





ところで春菜ってさ、遠距離なんでしょ？  
アレ、どうしてんの？

アレ？

だからー、彼氏と会ってないとさあ、欲求不満になるっしょ？

!?





えっと……そういうのは私たち、まだ……

ええ！ 彼氏いるのに、まだ処女なわけ？

うう、ちょっとあんまり言わないでよ……



ごめんごめん、でもさ指でオナニーくらいはやってるんでしょ？  
この前私、通販でおもちゃ買ったやつで、これがまたすごくてさ

……あ、私そろそろ結城君に電話しなきゃ！  
じゃ、じゃあね！

あらら、春菜にはまだ早かったんじゃない(笑)

いや、あの反応は絶対一人でやってると見たね。それも相当

あはは





それで今日大学の授業でね――

そうなんだ、こっちはこの前の模試の成績が結構よくてさ――

.....

それじゃ、今日はこの辺で――

そうだな、じゃあまた明日――

ピッ

はあ……結城君……会いたいな……



.....今日も、しちやおつか



彼氏いるのにまだ処女なわけ？

じゃあ指ひんがらほちんどうしてんのかよ？

あ、ん……

はあ……んっ……結城君

こんな恥ずかしいことをしてるなんて、人に言えるわけない……

でも私、本当は……

アッ

アッ……







はあはあ、結城君……

そこ、気持ちいい……

あつ、やつ……

ん、あつ、ダメッ……

もうイっちゃう！

あつ！

ゴチャ

わん

ん

ん

ゴチャ

わん

わん

ハイ

ゴチャ





はあはあ……

昔は、しょっちゅう色々な事件に巻き込まれて  
なんだかんだで結城君との距離が  
すごく近くなることもあったけど……

最近はそんなことも全然ない……

できることと言えば……  
こうして会えない寂しさを自分で慰めることだけ……

ハア

ハア

ハア

ハア



でも最近……これだけじゃ  
物足りなくなってる自分がある……





カタカタ

カチッ

カチッ…

おもちゃ……かあ……

すい……色んなのがある……

(「……これはちょっと見てるだけだから……)

(だってこんなの買っちゃうってどう考えても本当の変態だもん……)

うん……こんなの別に興味があるわけじゃ……



数日後

ピンポーン

はい

お届け物です！



ほんとに来ちゃった……



なんとなく小さいし、  
キーホルダーみたいだったからこれにしちやっただけ

ほんとにこれ…気持ちいいのかな……？





それは、言ってみればほんの一時の気の迷いでした。

指で自分を慰めることに飽きていた私が、少しだけ日常を変えたくて購入した、小さなおもちゃ。

だけど、それを軽く股間にあてがい、ドキドキしながらスイッチを入れた瞬間――

あああつ、やつあ、ああああ！

ダメ、これ、ダメ！

フツ、ひつつ…ああ！

やつ、んんつ！

ツツツ

ツ

ツツツ

ツツツ

ツ













今までにないほどの絶頂を味わった私は、  
そのまま倒れ込んで気を失い

自分自身の体液でできた水たまりに顔を浸したまま、  
朝を迎えました。

わ：

わ：

あ：



ポンポーン

はい

それからの私は





あああ、これも、すごい！  
お腹の中かき回される！

うひっ、はっ！ あっ  
中の一番気持ちいいところ  
刺激されるううう！！






あああ、イクっ！イクっ！  
男の子チンポでマンコイク！

春菜の淫乱ド変態マンコ、  
結城君の偽物チンポでイっちゃうっ！









新しく買ったおもちゃで新しい刺激を求め、  
一人暮らしの部屋で、とても人には聞かせられないような  
下品な声を上げながら性欲を発散する。

こんな日が毎日のように続いていました。

アアアアアア



うん、わかった。じゃあその日にね！  
楽しみにしてる！

ああ、俺も気持ちよく遊びに行けるように  
ちゃんと勉強がんばるよ

それじゃ！

ポチッ！

春菜なんか今日いいことでもあったの？

え？ どうして

いや、なんか雰囲気いつもと違うから



私そんなに顔に出てたかな…

まあね、で、どうしたの？

実は……



ええ!? 彼氏がこっちに遊びに来る?

うん、勉強の息抜きにね

あー、確かに…もしサークルとかに入ってたらかに合宿とかかそういう青春ぽいこととする時期だもんね

浪人生でもそういう時間は必要だよ

あはは



で、実際どうすんの？

え？

だって年頃の男女が久しぶりに会っただけでしょ？

会って遊んで、はいバイバイで終わるわけ？

……それについては……私も少し考えてて





どうせ春菜の彼氏だし今流行りの草食系なんでしょ？  
私がいいホテルとか紹介してあげるからさ、  
そこですっぽり楽しんできなつて

……うん、ありがとう



デートの日

おい西連寺!

結城君久しぶり!





結城君との久々のデート

思えば付き合い始めたときも、お互い受験で忙しかったから  
こういう恋人らしいことはあまりできなかつた。

でも今日は……



ふー、結構遊んだな

西連寺。ありがとう、いい息抜きになったよ

あ、あの結城君！

なに？





私…その…行きたいところがあつて…

行きたいところ？

うん…そのちよつと言いくいんだけど…

私の顔と口ごもるところを見て、  
結城君も私の言いたいことに気づいたらしい  
だけど、次に結城君の口から洩れた言葉は…

それじゃ…行ってみよつか？





それから私たちは――





あ、

あ、

あ、

ハッ

ハッ

ハッ

あ、

あ、

初めて体を重ねた。





西連寺、西連寺!

ハッ

結城君っ……っ! ん……ん

ん  
わっ:

ハッ

ハッ

あ、あの俺もう……っ……っ……っ

ハッ

わっ

ハッ

ハッ

ハッ





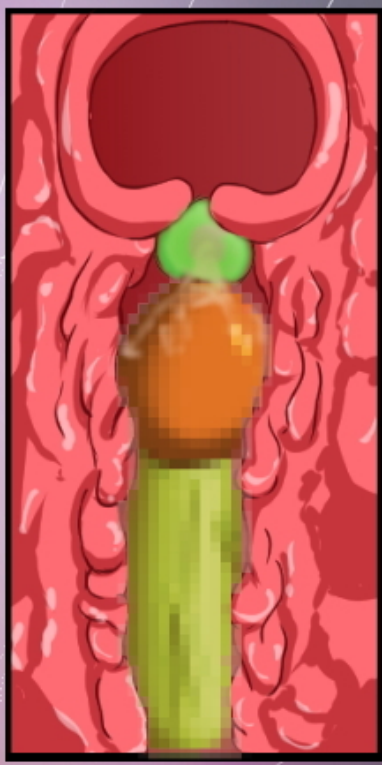


カッ...

カッ

カッ

カッ...





はあはあ……  
はあ、はあ……

西連寺、ごめん俺……初めてだったから……

ハア

ハア

ううん、いいの……

初めてのエッチ。おもちゃなんかじゃない、  
大好きな結城君との大切な初めての感想は――

ハア

ハア





「こんなもんかあ……」

「……だった。」

別に結城君が悪かったわけじゃないと思う。

ただなんていうか……

初めておもちゃを使った時のあのドキドキとか背徳感みたいなものは全然なくて……普通に気持ちよかっただけ……みたいなの……？

私、これから先、これで満足できるのかな……



春菜、どうだった？  
うまくいったの？

えっと……うん……一応

なんだか浮かない顔だね、よくなかったわけ？

……その、ちよっと恥ずかしいんだけど、聞いてもらってもいい？





なるほどねえ。つまり、道具使って自分でするより  
気持ちよくなかったと

ていうか、春菜もやっぱりそういうの使ってたんじゃないん、エローい

もうやめてよー。ほんとに恥ずかしいんだから…

はいはい、じめんじめん



でもま、いいんじゃない？別に

え？

だってー、彼氏のこと好きなんですよ？  
それに、他の男としたいってわけじゃないんだよね？

うん、それはそうだけど

要するに春菜は自分一人で完結する二人エッチが好きなのわけ





……うん、そうなのかな

でもそれって誰にも迷惑かけてないじゃん？  
浮気するわけでもなし、人のお金を使うでもなし

じゃ、自分の満足するように思う存分オナリまくって、  
彼氏とのエッチはスキンシップくらいに思っておけばいいんじゃない？

……そっか、そういう考え方もあるんだ



そうそう、だから春菜も自分の楽しいと思うことをもっと楽しみなよ

うん、ありがとう

ところで、春菜、おもちゃってどんなの買ったの？



えっと…それはあ…

いいじゃん私もおすすめ教えるからさ！



それからの私は、まるで心の枷が外れたかのように  
オナニーに夢中になっていきました。



乳首やおマンコの開発だけでは満足できず、  
とうとう私の興味は、本来そついった用途に使うべきではない場所にまで  
伸びていったのです。

えーっと

最初は穴をきれいにしなきゃ...

このポンプ？を押せば液が入るんだよね...？

...でも、この感覚

これだけでも癖になりそう.....

アイッ

アイッ

ほんとには出す穴なのに、  
気持ちよくなるためだけに  
お尻にこんな入れちゃうなんて...

お尻...

よし、じゃあ抜けないようにこのポンプを――





ふぎっ

あ、おっつ、冷たいの入ってくるー！  
うそ、こんなにつ...早く...も、もうダメ

ほんとにしちゃうの...？  
そんなことしたら人として

や、やっぱり...ちゃんとトイレで

んっつ、おっ、ダメッ

あ、ああー









ふーふー、出ちゃった……

あっ……はあ……

念のためご飯抜いといてよかった……



はあはあ……

これがアナルパール……

これをローションで濡らしてお尻の穴に入れる……





う、あ…すごい、入っていく…

初めての感覚…うっ、ふ…ふう…  
全部入った…？

うう、なんか異物感が凄い…

でも、ここからが本番だから…

お腹の中に溜まった球を…一気に…

キゅん

びん

うん

ハア

ハア

ハア





おれは...  
おれは...  
おれは...

おれは...

引き抜く!!!

おれは...

おれは...

おれは...

おれは...



これ、想像以上……

……

……

……

……

ただ、私の欲求を満たすための行為は  
日に日にエスカレートして……

……



セッティング完了って...  
あとは「」のカメラに向かって...





はあはあ……ちゃんと撮れてるかな……？  
これ、カメラがあるとほんとに配信してるみたい……

えへへ、こんにちはー

〇〇大学に通ってるオマンコ系  
ゆーちゆーばー西連寺春菜でーす

今から、カメラの前でオマンコオナニーしちゃいまーす！





はあはあ…

あ、興奮してクリトリスが勃起してきました。



み、皆さん見えますか？  
春菜のクリチンポおっきくなってるまーす。

い、いつも、こんな風にオナニーするときには  
クリチンポピンピンにおっ勃てる  
指やローターでしごきまくってまーす♡







ハ  
ハ  
ハ

わ  
わ

わ  
わ

あ、んっ気持ちいい！

あっ、あ、まん」...

クリチンポも

まん」も気持ちいい♡

そ」っそ」...

イっちやうイっちやうよ！

あ、あんっあ——

シ  
シ

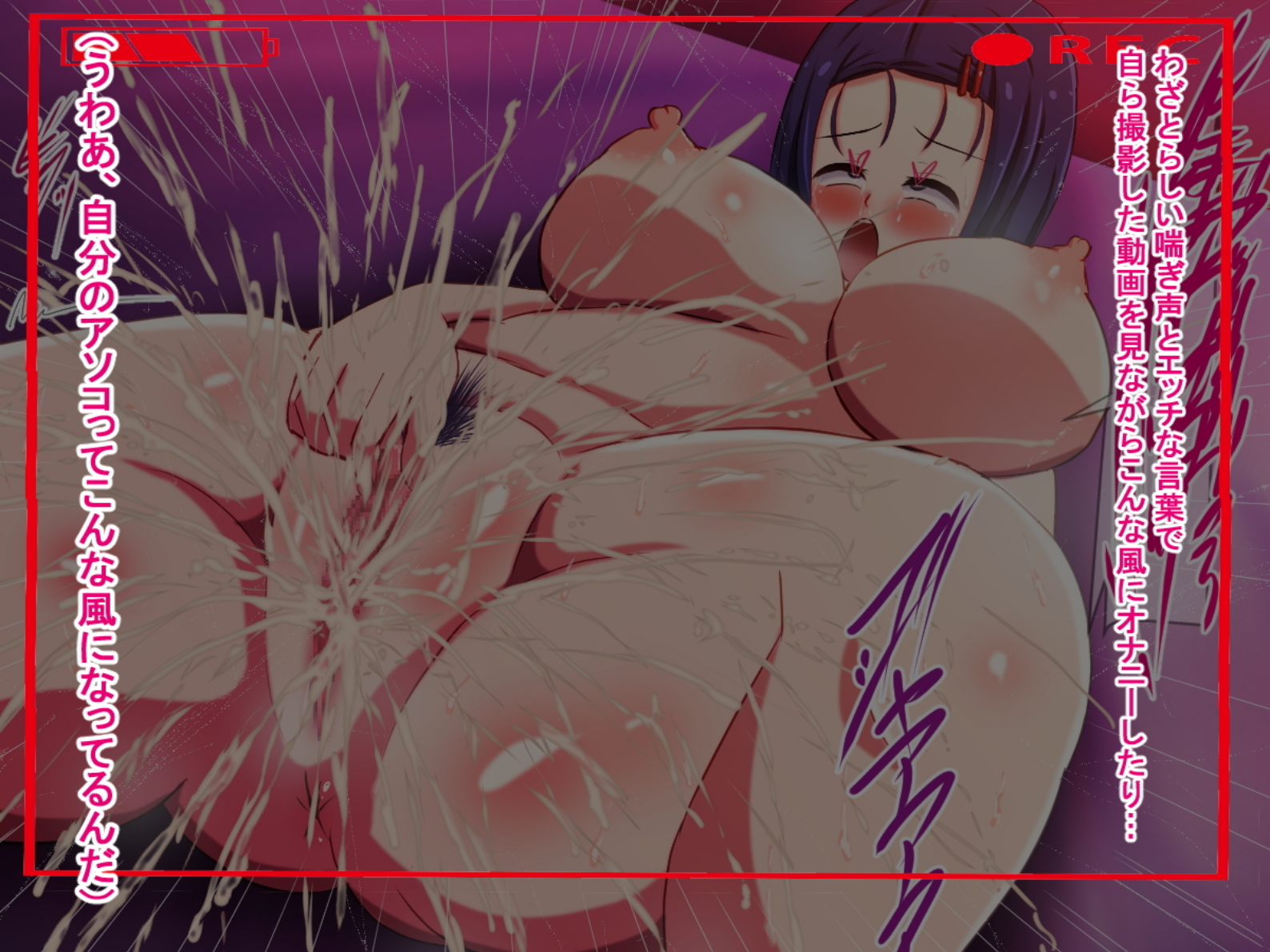
シ  
シ





わざとらしい喘ぎ声とエッチな言葉で  
自ら撮影した動画を見ながらこんな風にオナニーしたり…

うわあ、自分のアソコってこんな風になってるんだ



(よろ、いいぞで...)

グニッ





おい見るよこれ!

なんだこれ、変態じゃん(笑)

ザザザ

ウイイイイイイイ!

ハア

ハア

自分で撮影したエッチな写真を、大学のわかりやすいところに置いて  
それを見た人の反応を見ながらローターのスイッチを入れたり









そして気づけば私は――



裸で外を歩いていた。

こ、これは絶対ダメだよ…  
だって、もうオナニーじゃない…

犯罪だもん……

こんな格好で外歩いちゃうなんて、他の人に見つかったり警察にバレたりしたら





へえ、姉ちゃん面白い「」としてんじやん(笑)

露出狂ってやつか？



おい見るよこいつ裸だぜ

うわ、ほんとだ

おい姉ちゃん、  
そんな格好して期待してたんだろ？  
俺のチンコしゃぶってくれよ

俺も俺も！

あつ、ああ……こんなに臭いチンポ……  
いっぱい押し付けられてる……



ツツ

う…

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ







絶対こんなことされちゃうに決まってる♡♡♡

はあ、はあ……早く、早く戻らなきゃ……

ハァ

ハァ

あ、電柱………そういえばあそこ……  
よく近所の犬がおしっこしてると……

誰もいない……よね？







わんわん、わん！  
(ああ、私、最低…ほんと、最低だ)  
でも我慢できない……







あの……「う」めんなさい

ほ、ほく塾の帰りにたまたま……その通っただけで……

(男の子……? よかった、「う」のくらいの年なら、きっとまだ私のやっている「う」もわかってない……よね)





ううん、いいの……

（ああ、どうしよう……ほんとなら今すぐ逃げなきゃいけないのに、興奮が止まらない）

ハァ

ハァ

それより、お姉ちゃんのこと  
秘密にしてくれたらいいものを見せてあげる

ううん……

うん……



ほら、これがオマンコ♥

キミも私もお母さんのこの穴から生まれてきたんだよー？

（こんな子に自分の恥ずかしい格好  
見せつけて興奮するなんて）

すくすく、ブルブルする……

んぎゅんぎゅん……





ヌルヌルしてるのはね、  
女の人がエッチな気持ちになってるからなの

キミにはまだ難しいかもしれないけど、  
お姉ちゃん今とってもコーfunしてるんだよ♡

カ  
ン  
ン  
ン

じゃあ、ちゃんと見ててね。

お姉ちゃんがお姉ちゃんのミニミニオチンチンにすって  
気持ちよくなるどころちゃんを見てて

え？ お姉ちゃんのおチンチン？



あ、ああ…気持ちいい♡

クリトリスいじるとの  
気持ちいいよー♡♡♡

んんん

んんん

んんん

会ったばかりの男の子の前で  
他の人には絶対見せられないオマンコいじり  
ぐちゅぐちゅするの気持ちいいよー♡♡♡

はあはあ…





ああっ、お姉ちゃんいつちやう！

もういつちやうね！

こんなエッチなお姉ちゃんに出会って  
潮吹き絶頂オナニ——見せられたこと  
一生忘れないで！

イッ

あッ  
あッ

イッ  
イッ

イッ  
イッ

キミがオチンポしごき覚えるようになったときも  
私の「」と思っ田「」とシムン「」と「」まぐっ「」

↑



あっ、イグツッ！

イグツッ、淫乱メスチンポと

ドロドロオマンコのダブルアクメで

イグツッ  
イグツッ

イグツッ  
イグツッ

春菜イツクウウウ！！！！

イグツッ  
イグツッ

イグツッ  
イグツッ











あ、あ、あ.....わーん.....

グッグッグッ



はあ…気持ちよかった…  
途中に置いていった服も無事に残ってたし……

今日はもう遅いからお風呂入って寝よう…  
明日はどんなオナニーしようかなあ…







あ、あの…お帰り西連寺……

え…え…？ 結城君、なんで……

いやあの……今日行くなって、前に約束してた…よな…？



それで、いないみたいだったから合鍵で……ごめん、勝手に……

(あ…今日結城君が来る日……私オナニーに夢中ですっかり忘れて……)



そ、そ、そうだったよね！  
忘れてないよもちろん！

ごめんね、ちょっと結城君のために買い物に出ただけで…

ちよッ





『あんっ！ あんっ！  
オマン！ オマン！』

『春菜のオナニーもっとな見てええええ！』

あん  
あん  
あん  
あん  
あん







あの……ごめん……

それ、テレビつけたら勝手に……

慌てて消したんだけど……その……

あ……あ……

ア……ア……  
イ……イ……  
ウ……ウ……  
エ……エ……  
オ……オ……









結城君、私……実はね……

FIN